

注意点1

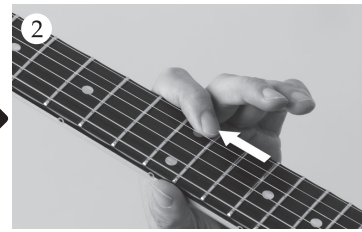


フレーズを弾き切るカギは人差指の正確な移動にあり!

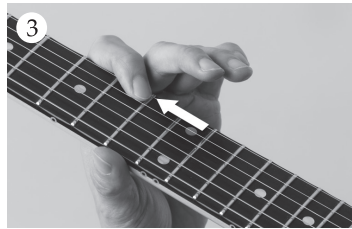
3音1セットで横移動していく[A] 6小節目では、人差指の正確な移動がポイントになる(写真①~④)。各拍子1拍目の人差指のダウン・ピッキングにアクセントをつけると、3音1セットのスタート音が把握できるようになるので、テンポがキープしやすくなるだろう。慣れるまでは、ゆっくりしたテンポから練習してほしい。



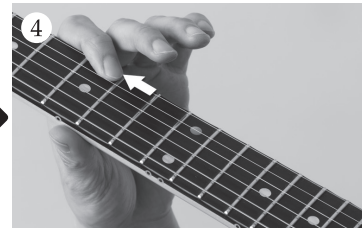
1拍目。まず人差指で1弦14fを押さえよう。



2拍目では、12fに移動する。



3拍目は2f下の10fを押さえよう。



4拍目では、1f分下げて9fを押弦する。

注意点2

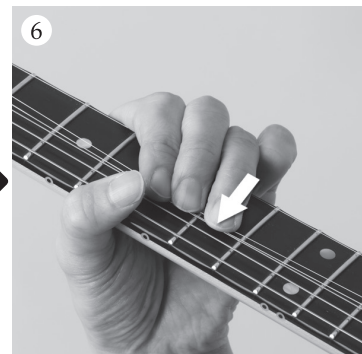


弦を1音分上げた状態でピッキングせよ!

[B] 4小節目1拍目ウラに登場する“チョーク・アップ(U)”は、1音チョーキングした状態でピッキングするテクニックとなる(写真⑤&⑥)。初心者は、弦を1音分上げる前にピッキングして、音程が外れた演奏をしてしまうことがあるので注意しよう。ちなみに、半音上げてから発音するテクニックは、“ハーフ・アップ(H.U.)”と言う。



2弦10fを薬指でチョーク・アップする準備段階。親指でネックをしっかり握り込むことが大切だ。



2弦10fを素早くチョーキングする。この状態をキープしたまま、ピッキングしよう。

注意点3

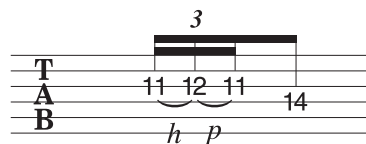


音符に言葉を当てはめて正確なリズムを掴むべし!

[B] 5小節目4拍目などの半拍3連符と8分音符が組み合わさったフレーズは、リズムが取りにくいので注意が必要だ。このようなフレーズは、音符に言葉を当てはめながら演奏してみるとよいだろう(図1)。こうすることによって、1拍に収める音数が把握できるようになるので、正確なリズムでの演奏が可能になる。

図1 半拍3連符+8分音符フレーズのリズム

・ [B] 5小節目4拍目



タ カ ダ サン

音符に合った言葉を当てはめることによって、リズムが取りやすくなる。

[1拍に収める音数が把握できる] 5連符や7連符なども、音符に言葉を当てはめて演奏してみるとよい。5連符では“ジゴクイキ”、7連符では“ハダカネクタイ”といった言葉を使ってみよう。